

認証番号 229AHEZX00019Z00
7D-99B2
LS8-99B2
TBA-99B2

この電子化された添付文書をよく読んでから使用してください。

シスタチンCキット
イアトロCys-CⅡ

●全般的な注意

1. 本品は体外診断用医薬品です。それ以外の目的には使用できません。
2. 診断・治療効果の判定は、本法を含めて関連する他の検査や臨床症状に基づき医師が総合的に判断してください。
3. 添付文書以外の使用方法については保証をいたしません。
4. 使用する機器の添付文書及び取扱説明書をよく読んでから使用してください。

●形状・構造等（キットの構成）

1. Cys-C R-1
2. Cys-C R-2
抗ヒトシスタチンCウサギポリクローナル抗体感作ラテックス懸濁液
（抗ヒトCys-Cウサギポリクローナル抗体感作ラテックス懸濁液）

●使用目的

血清又は血漿中のシスタチンC（Cys-C）の測定

●測定原理

検体（血清又は血漿）中のCys-Cは抗ヒトCys-Cウサギポリクローナル抗体感作ラテックスと反応し凝集塊を形成します。この凝集塊を光学的に測定し、既知濃度の検量物質を対象にCys-C濃度を求めます。

●操作上の注意

1. 測定試料の性質、採取法
 - 1) 検体には、血清、フッ化ナトリウム加血漿、ヘパリン加血漿又はEDTA加血漿を使用してください。
 - 2) 検体及び標準品等を分注するときは、泡立てないように注意してください。
 - 3) 検体については、ゴミ、カビ、細菌類、洗剤等の混入は絶対に避けてください。
 - 4) 検体は4℃で一週間安定ですが、長期保存は-40℃以下で保存してください。
 - 5) 繰り返し凍結融解した検体の使用は避けてください。
 - 6) 不溶物を含む検体は遠心分離又は濾過により除去した後使用してください。
 - 7) 測定範囲を超えた高濃度検体は、生理食塩水で希釈し再測定してください。
2. 妨害物質・妨害薬剤
抱合型ビリルビンは19.1 mg/dLまで、遊離型ビリルビンは19.4 mg/dLまで、乳びは1,530ホルマジン濁度まで、溶血はヘモグロビン濃度として500 mg/dLまで、リウマチ因子は500 IU/mLまで影響ありませんでした。

●用法・用量（操作方法）

操作法は自動分析装置により異なります。詳細な操作法は各装置毎にパラメータを用意してありますのでご用命ください。

〔日立7180形自動分析装置の例〕

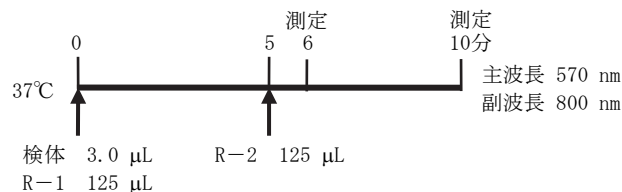
1. 試薬の調製方法

- 1) R-1 : Cys-C R-1をそのまま使用します。
- 2) R-2 : Cys-C R-2をそのまま使用します。
- 3) 標準品 : 使用説明書に従って調製します。

2. 必要な器具・器材・試薬等

- 1) 標準品（別売品）
Cys-CキャリブレーターセットⅡ（ST-992AS）

3. 測定（操作）法



3.0 μLの検体に125 μLのR-1を加え、37℃で5分間加温した後、125 μLのR-2を加えます。37℃で加温しながら1分後、及び5分後に主波長570 nm、副波長800 nmで吸光度を測定します。同様に標準品を用いて操作したときの吸光度と対比し、検体中のCys-C濃度を求めます。

●測定結果の判定法

1. 参考基準範囲 0.4~0.9 mg/L¹⁾
基準範囲は種々の条件下、各検査室により変動する可能性がありますので、各施設にて適した値を設定してください。
2. 判定上の注意
 - 1) 検体によっては、まれに検体中の目的成分以外との反応や妨害反応を生じることがあります。測定値や測定結果に疑問がある場合は、再検査や希釈再検査により確認してください。
 - 2) 非常に高濃度の検体については低値を示す可能性がありますので注意してください。
 - 3) 測定上限を超える高濃度検体については、キャリーオーバーにより次検体以降の測定値に影響を与える可能性がありますので注意してください。
 - 4) 採血管については、分離剤等が測定値に影響を与える場合がありますので注意してください。
 - 5) 診断・治療効果の判定は、本法を含めて関連する他の検査や臨床症状に基づき医師が総合的に判断してください。

●性能

1. 性能
弊社の品質管理基準に基づいた値です。
 - 1) 感度
0 mg/Lと0.1 mg/Lの標準液をそれぞれ3回同時測定するとき、0 mg/Lの標準液の吸光度変化量の平均値+2S.D.と0.1 mg/Lの標準液の吸光度変化量の平均値-2S.D.は重なりません。
 - 2) 正確性
既知濃度の管理検体Ⅰ（0.5~1.5 mg/L）、管理検体Ⅱ（1.5~2.5 mg/L）及び管理検体Ⅲ（3.5~4.5 mg/L）を測定するとき、既知濃度±15%以内です。
 - 3) 同時再現性
管理検体Ⅰ（0.5~1.5 mg/L）、管理検体Ⅱ（1.5~2.5 mg/L）及び管理検体Ⅲ（3.5~4.5 mg/L）を10回同時測定するとき、C.V.は10%以下です。
 - 4) 測定範囲
0.1~9.0 mg/L（日立7180形自動分析装置使用）
2. 相関性試験成績
本品と既存品（ラテックス免疫比濁法）との相関は、以下のとおりでした。
血清 : n=70, r=1.00, y=0.97x+0.10 (y: 本品)
血漿 : n=70, r=1.00, y=1.00x+0.09 (y: 本品)

本品と既存品（金コロイド比色法）との相関は、以下のとおりでした。

血清：n=70、r=1.00、y=0.99x+0.11（y：本品）

血漿：n=70、r=1.00、y=0.99x+0.11（y：本品）

3. 校正用基準物質

血清シスタチンC国際標準品 ERM471 / IFCC
(ERM-DA471)

●使用上又は取扱い上の注意

1. 取扱い上（危険防止）の注意

- 1) 検体は、HIV、HBV、HCV等の感染の恐れがあるものとして取扱ってください。
- 2) 検査にあたっては、感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用し、口でのピペティングは行わないでください。
- 3) Cys-C R-1、Cys-C R-2には、アジ化ナトリウム（0.1%以下）が含まれていますので、誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合には、水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けてください。

2. 使用上の注意

- 1) 試薬は貯蔵方法に従って保存し、使用期限を過ぎた試薬は使用しないでください。
- 2) 凍結した試薬は使用しないでください。
- 3) 異なるロットとの組み合わせで使用しないでください。また、検量線作成と検体測定は必ず同一条件で行ってください。
- 4) 使い残りの試薬の混合は避けてください。（汚染や試薬の劣化をきたすことがあります。）
- 5) 測定終了後は、蓋をして貯蔵方法に従って保存してください。
- 6) Cys-C R-2（ラテックス試薬）は、泡立てないように混和してから装置にセットしてください。
- 7) ゴミなどが試薬及びセルに混入しないように留意してください。

3. 廃棄上の注意

- 1) 検体、検査に使用した器具類及び廃液は、次亜塩素酸ナトリウム（有効塩素濃度 1,000 ppm、1時間以上浸漬）、グルタルアルデヒド溶液（2%、1時間以上浸漬）等での消毒又はオートクレーブ処理（121℃、20分以上）を行ってください。
- 2) Cys-C R-1、Cys-C R-2には、アジ化ナトリウム（0.1%以下）が含まれています。アジ化ナトリウムは、爆発性の強い金属アジドを生成することがありますので、廃棄は大量の流水で行ってください。
- 3) 試薬、検査に使用した器具類及び廃液を廃棄する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等に従って、廃棄してください。
- 4) 試薬類や検体が飛散した場合には、飛散した溶液を吸収剤で吸収し、飛散した場所を洗浄液で拭き取った後、さらに消毒用エタノール溶液などの適切な消毒剤で拭き取ってください。作業は適切な保護用具（手袋、安全眼鏡、実験衣など）を着用して行ってください。
- 5) 容器等は他の目的に転用しないでください。

●貯蔵方法、有効期間

1. 貯蔵方法 2～10℃
2. 有効期間 15ヵ月
使用期限は外箱ラベル及び容器ラベルに記載してあります。

●包装単位

製品番号	包装単位
7D-99B2	Cys-C R-1 15 mL×1 Cys-C R-2 15 mL×1

製品番号	包装単位
LS8-99B2	Cys-C R-1 20.0 mL Cys-C R-2 20.0 mL

製品番号	包装単位
TBA-99B2	Cys-C R-1 15.6 mL×2 Cys-C R-2 15.6 mL×2

●主要文献

- 1) 生物試料分析、Vo. 30, No. 3(2007)
- 2) S.Tian et al. : Cystatin C measurement and its practical use in patients with various renal diseases. Clinical Nephrology, 48(2):104-108, 1997.
- 3) 堀田治 他：内科的腎疾患腎機能評価におけるcystatin-Cの有有用性—β2-microglobulin, α1-microglobulin, クレアチニンとの比較—。日腎会誌, 41(8):797-803, 1999.
- 4) 伊藤喜久：血清シスタチンC参考基準範囲設定に関する検討。医学と薬学, 43(1):149-151, 2000.
- 5) 山本英明 他：血清シスタチンCの小児期における基準範囲設定と腎機能評価に関する検討。臨床検査, 45:1027-1032, 2001.

*●問い合わせ先

PHC株式会社 インフォメーション担当
TEL：03-6865-2500
E-mail: medi-ho-service@gg.phchd.com

*●製造販売業者の氏名又は名称及び住所

PHC株式会社
東京都千代田区有楽町1-13-2